



これであなたもごみマスター

～正しい分別 ひと手間が地域の未来をつくる～

市のごみの現状

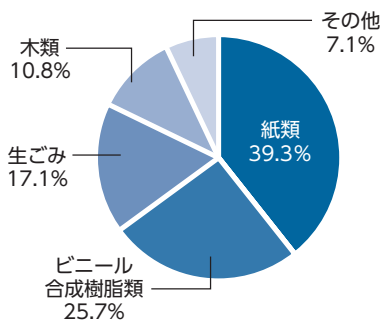
私たちは生活を送る中でモノを買ったり、何かを作ったりします。その過程で「ごみ」は、ほぼ必ず発生するものとなります。市内で出るごみの量は、年間3万5千522トンで、1人1日当たりに換算すると、千192グラム排出されており、これは県内5番目の排出量です。1人1日当たりのごみの排出量はここ数年間は、ほぼ横ばいです。



1人1日当たり平均ごみ排出量

蒲郡市(27年度)	1192グラム
蒲郡市(26年度)	1188グラム
蒲郡市(25年度)	1211グラム
愛知県(27年度)	929グラム
全国(27年度)	939グラム

燃やすごみの内訳



が、全国や県の平均値を大幅に超えています。このことから、市民一人ひとりから日々多くのごみが出ている計算になります。蒲郡では多くの燃やすごみが排出されていますが、その袋の中には何が入っているのでしょうか。実は、燃やすごみの約40%は紙類。この紙類はごみではなく立派な資源になります。「分別は面倒」と思われがちですが、小まめに分別することでごみを減らすことができます。あなたもそのひと手間をかけてごみを減らしましょう。

～古紙の出し方を再確認～

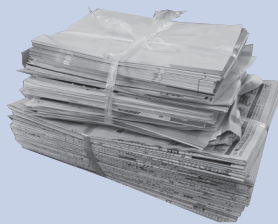
身の回りの雑がみも資源化へ！

資源ステーションに出せる古紙

新聞紙、ダンボール、雑誌、チラシ、紙パックのほか、**雑がみ**も資源になります。

(雑がみの例)

- ・紙袋や包装紙
- ・食品などの紙箱
- ・ノート、メモ用紙
- ・カレンダー
- ・封筒、ダイレクトメール
- ・コピー用紙、プリント
- ・トイレトーパーやラップの芯 など



資源ステーションへの出し方

- ◎新聞紙などの古紙は種類別にひもで縛る
※紙パックは、緑のかごへ
- ◎雑がみは紙袋に入れてひもで縛る

資源ステーションに出せない古紙

- ・防水加工された紙 ・感熱紙
- ・食品、油などで汚れた紙
- ・カーボン紙 ・写真、アルバム
- ・裏が銀色の紙パックなど



↓
「燃やすごみ」へ